

# 糖尿病の原因、病態などは様々です

正しい理解は、身近な人と自分を守ります

糖尿病について、知らず知らずのうちに  
誤ったイメージを持っていませんか



## 原因

生活習慣だけで決まる病  
気ではありません

体型に関わらず糖尿病を  
発症することがあります

体質や環境など、本人の  
意思では変えにくい要因  
も関わります

## 病態

病気の状態は人によって  
様々です

症状がなくても、合併症が  
進んでいることがあります

予防や治療の進歩によ  
り、合併症は減ってきてい  
ます

## 発症後

自分の状態に応じて、食  
事など生活習慣の工夫  
が大切です

治療を続けることで、糖  
尿病がないときと変わら  
ず、人生や職業を選択す  
ることができます



糖尿病への向き合い方は人それぞれです。医師や専門職  
などと相談しながら、自分に合った治療やセルフケア、生活  
の工夫を続けることで、日常生活を送ることができます。



病気にまつわる誤解や偏見が、糖尿病のある人を傷つけたり、受診や治療の開始・継続を  
難しくしてしまうことがあります。このような誤解や偏見を「スティグマ」と呼びます。

## 社会全体で理解を深めるために

世界糖尿病デー（11月14日）は糖尿病について正しく知り、理解を  
深めるための国際的な啓発デーです。この日を中心に、全国各地でブ  
ルーライトアップが行われています。ブルーは、「糖尿病とともに生き  
る人を社会全体で支える」という思いを表す色です。



## 正しい理解が支えになる

糖尿病は、適切な治療やセルフケアによって仕事・学業・家庭生活を  
続けることができる病気です。糖尿病があっても、工夫や支援により  
自分らしい生活を続けることができます。正しい理解は、糖尿病の治  
療を続けていくための支えになります。



詳しくはこちら

